

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあつては名称) 東和薬品株式会社	住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒 571-8580 大阪府門真市新橋町2番11号
----	-------------------------	----	---

本票作成 部署名： 管理本部 環境安全管理部

主たる業種 分類コード 16 業種名： 化学工業

事業の概要 医療用医薬品（ジェネリック医薬品）の製造・販売（固形剤・注射剤）
従業員数：3,578名（2023年4月1日現在）

県内の 主な 工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	岡山工場	岡山県勝田郡勝央町太平台34番2号
	②	西日本物流センター	勝田郡勝央町太平台84番
	③	岡山営業所	岡山市南区新保1152-1
	④	西日本メガソーラー	勝田郡勝央町太平台84番
	⑤	岡山工場 第二・第三駐車場	勝田郡勝央町太平台71番
	⑥	東和ほほえみ保育園岡山	勝田郡勝央町太平台65番

特定事業者の該当要件 ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 ③CO₂換算3,000t以上
(●工場等の数 6 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)

温室効果ガス 排出量	基準年度（平成 30 年度）	（令和 4 ）年度排出量	目標年度（令和 5 年度）
	16,329 t CO ₂	13,659 t CO ₂	18,987 t CO ₂

主な工場等 の排出量	番号	工場等の名称	（令和 4 ）年度排出量
	①	岡山工場	13,217 t CO ₂
	②	西日本物流センター	352 t CO ₂
	③	岡山営業所	52 t CO ₂
	④	西日本メガソーラー	12 t CO ₂
	⑤	岡山工場 第二・第三駐車場	7 t CO ₂
	⑥	東和ほほえみ保育園岡山	19 t CO ₂

削減目標の 達成状況	計画期間： 令和 元 年度 ～ 令和 5 年度 （ 5 箇年度）			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	（ 4 ）年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	14.0 %	5.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準 の削減目標を 選択している 場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 原料使用量	原単位当たり排出量		
		基準年度	（ 4 ）年度	目標年度
		11.74 t CO ₂ /(t)	10.10 t CO ₂ /(t)	11.15 t CO ₂ /(t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク 指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和 4 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

令和4年度（2022年度）の原単位当たりの排出量を目標以下に低減させることができた。主な理由としては勝央中核工業団地内にLNG集中サテライト基地を建設し2021年12月より燃料転換（A重油→LNG）した事で使用する燃料のCO2排出係数が低下したことが影響している。温室効果ガスを削減(省エネ法と合わせてエネルギー消費原単位を前年度に比べて改善、5年度間平均原単位で年1%以上の削減)する為、CO2削減に向けた取り組みの検討・実施を継続して行う。

【推進体制】

1. 東和薬品グループ全体の環境と安全を一体的に管理運営し、社員および地域社会の環境と安全のさらなる向上を目指して本社組織として「環境安全管理部」を2022年4月に新設、省エネ関連の全社業務は総務部から環境安全管理部へ移管した。
2. 東和薬品全体のエネルギー使用量が增大する中、当社3工場を中心にCO2削減のポテンシャル診断を実施した（2022年7～8月）。この診断結果を踏まえ、実現可能性が高い施策から優先順位をつけ、具体的な対策を進めるために、現在検討中である。また、対策の改善や、新たな対策の立案のため、連絡会議を設立し（2023年4月）、事業所間の横連携を通じた対応を検討している。
3. 岡山工場では工場長を総括環境管理者とする環境省エネ委員会（隔月）で開催し、環境負荷の低減に取り組んでいる。会議を開催しない月においても、活動状況の報告、集計、資料提供などの情報共有を実施している。省エネパトロールを実施し、参加メンバーの省エネに関する意識向上に努めている。2022年度より設立した本社環境安全管理部と連携し、環境負荷低減の検討を推進している。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
岡山工場	(令和4年度実施分) 岡山工場 ・包装棟照明器具のLED化 (CO2削減量：46tCO2) (今後実施予定分) 岡山工場 ・エネデュース (金属面修復剤) の充填 対象：第一・第二製剤棟用モジュール チラー (CO2削減量：140tCO2) ・変圧器の更新、及び容量見直し (CO2削減量：9tCO2) ・第一製剤棟照明器具のLED化 (CO2削減量：99tCO2) ・自家消費型太陽光発電設備の導入 (検討中) ・他社の省エネ提案サービスを利用 (提案結果について導入・実施検討中)

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	有	西日本物流センターに太陽光発電を導入しており、再生可能エネルギー由来の電気を一部利用している。
その他	無	

【その他特記事項】

--